

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-41	高等学校	数学科	数学Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
183 第一	数Ⅱ 334	新編数学Ⅱ		

## 1. 編修の基本方針

- ①当該科目に関する知識と技能を確実に身につけ、それらを活用して思考・判断・表現する能力を伸ばすために、記述や題材に配慮した。
- ②1つの題材に対して複数の考え方があることを適宜示し、いろいろな立場を尊重する態度を養うことができるようにした。
- ③生活に関連のある題材や、数学を発展させた先人たちの業績について扱うことで、数学に対する興味・関心を高め、社会の形成・発展に主体的に関わろうとする態度を養うことができるようにした。

## 2. 対照表

図書構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
前見返し 1章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な題材を扱うことで、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養えるようにした(第2号)。</li> </ul>	前見返し, p. 25 の 13～20 行
2章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文内容を補充する内容や、学習内容の理解を深めるための発展的な内容を扱うことで、幅広い知識と教養を身に付けられるようにした(第1号)。</li> <li>・1つの題材に対して複数の考え方を示し、他者との協力を重んずる態度を養うようにした(第3号)。</li> <li>・数学の歴史に関する内容を扱い、数学を発展させた先人たちの業績に触れることで、伝統と文化を尊重する態度を養えるようにした(第5号)。</li> </ul>	p. 45  p. 45  p. 46 の 12～23 行
3章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文内容を補充する内容や、学習内容の理解を深めるための発展的な内容を扱うことで、幅広い知識と教養を身に付けられるようにした(第1号)。</li> <li>・身近な題材を扱うことで、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養えるようにした(第2号)。</li> <li>・1つの題材に対して複数の考え方を示し、他者との協力を重んずる態度を養うようにした(第3号)。</li> </ul>	p. 65  p. 87 の 11～17 行  p. 72
4章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1つの題材に対して複数の考え方を示し、他者との協力を重んずる態度を養うようにした(第3号)。</li> </ul>	p. 107 の 10～11 行, p. 120 の 12～16 行

5 章	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な題材を扱うことで、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養えるようにした(第2号)。</li> </ul>	p. 143 の 16～23 行
6 章	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文内容を補充する内容や、学習内容の理解を深めるための発展的な内容を扱うことで、幅広い知識と教養を身に付けられるようにした(第1号)。</li> <li>身近な題材を扱うことで、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養えるようにした(第2号)。</li> </ul>	<p>p. 181</p> <p>p. 164</p>

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 基本的な技能を習得するために、巻末に「補充問題」を設けた。
- 読みにくい漢字には積極的にルビを添え、一般的な教養も身に付くよう配慮した。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、担当授業時数表)

※受理番号 28-41	学 校 高等学校	教 科 数学科	種 目 数学Ⅱ	学 年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
183 第一	数Ⅱ 334	新編数学Ⅱ		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

- (1) 指導者にとっては指導しやすく，学習者にとっては理解しやすい教科書
- ・天下り的な説明はできるだけ避け，具体例を通じて理解できるような説明にした。
  - ・平易な語句・表現を使い，簡潔かつ明快な記述にした。必要に応じて，本文や解答を補足するための注釈を置いた。
  - ・教材の配列については，生徒が無理なく理解できるよう，十分配慮した。とくに，中学校での学習内容とのつながりを重視し，初出の内容にスムーズにはいることができるようにした。
  - ・学習内容はできるだけ細分化し，段階を追って確実に知識や技能が身につけられるようにした。
  - ・計算の負担を軽減し，本質部分の理解に集中できるよう，十分配慮した。
  - ・各節の標準的な内容については，くり返し練習できるようにした。
- (2) 数学への興味・関心を喚起し，数学的な考え方のよさを認識できる教科書
- ・具体的な問題を解決する場面を適宜取り上げ，数学的な見方・考え方のよさを感得できるようにした。
  - ・節末や章末では，理解を深めるための問題や，本文に関連する興味深い内容も扱うようにした。
- (3) ビジュアル面を工夫した，読みやすい教科書
- ・ユニバーサルデザインフォントを採用し，読みやすさの向上に努めた。
  - ・レイアウトを工夫して，紙面をすっきりさせた。
  - ・公式などの重要事項は，太字にしたり，枠で囲んだり，表にまとめたりして，強調するようにした。
  - ・本文をカラーにしたり，図版・イラスト・アミ版などを適切に掲載したりして，視覚的な効果にも配慮した。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	担当 時数
1章 式と証明 1節 式と計算 2節 等式・不等式の証明	(1) いろいろな式 ア 式と証明 (ア) ア 式と証明 (イ)	p. 4 - 27	16
2章 複素数と方程式 1節 複素数と方程式の解 2節 高次方程式	(1) いろいろな式 イ 高次方程式 (ア) イ 高次方程式 (イ)	p. 28 - 47	13
3章 図形と方程式 1節 点と直線 2節 円の方程式 3節 軌跡と領域	(2) 図形と方程式 ア 直線と円 (ア) ア 直線と円 (イ) イ 軌跡と領域	p. 48 - 87	27
4章 三角関数 1節 三角関数 2節 三角関数の加法定理	(4) 三角関数 ア 角の拡張 イ 三角関数 (ア)	p. 88 - 121	23

	イ 三角関数 (イ)		
5章 指数関数・対数関数 1節 指数関数 2節 対数関数	(3) 指数関数・対数関数 ア 指数関数 (ア) ア 指数関数 (イ) イ 対数関数 (ア) イ 対数関数 (イ)	p. 122 - 145	16
6章 微分と積分 1節 微分係数と導関数 2節 関数の値の変化 3節 積分	(5) 微分・積分の考え ア 微分の考え (ア) ア 微分の考え (イ) イ 積分の考え (ア) イ 積分の考え (イ)	p. 146 - 183	25
		計	120

※年間授業時数を 120 時間として配当している。